

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害等における入居者の避難に際し、地域住民の援助を得るにあたって、実際の訓練等への参加無しに行う事への不安が考えられる。	ホームで年二回行っている避難訓練に、地域住民の方々にも参加して頂く。	運営推進会議において提案し、会議に参加頂いている自治会の副会長や民生委員の方々に働きかけ、地域住民の方々にホームでの避難訓練に参加頂ける様連携してゆく。	12ヶ月
2	6	徘徊者の安全を考えているとはいえ、玄関へ通じる扉への施錠が常態化してしまうと身体拘束になる危険が有る。	入居者の安全を図りながら、拘束になる様な施錠を今後も行わないよう全職員で話し合い、開錠時間の更なる確保に努める。	帰宅希望等の意向の把握に努め、入居されている方々の精神の安定を図りながら扉の開錠を行い、どのような場合でも扉の開閉に素早く対処出来る様、センサー等の利用を継続してゆき、全職員で日頃より注意をはらい支援する。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。